

# 債券・為替 ウィークリーレポート



カナダ



ブラジル



メキシコ



オーストラリア



ニュージーランド



ノルウェー






南アフリカ



インドネシア



インド

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		5/31 （5/24との比較）	5/31 （5/24との比較）	前年比 （※3）	先週末		
		今後の見通し （※4）	今後の見通し （※5）	景気の方向性 （※6）	方向性 （※7）		
カナダ 	AAA	1.49% （▲0.13）	80.12円 （▲1.50%）	+1.3% 2019年1Q	1.75%	発表された5月GDP（国内総生産）が市場予想を上回る内容となり、中銀は政策金利の据え置きを決定。原油価格の下落が続く中、カナダドルは対円で下落。世界的な通商問題への警戒感が強まる中、国債利回りは低下。	国際商品貿易や雇用統計などが発表予定。引き続き、各国の通商問題や原油価格の動向などに注目が集まる中、G20サミットを控えて政策対応期待もあるため、債券・為替市場はともにレンジ内での推移を想定。
	Aaa	→ 金利横ばい	→	→ 景気安定	→ 据え置き局面		
ブラジル 	BB-	7.46% （▲0.41）	27.61円 （+1.63%）	+0.5% 2019年1Q	6.50%	発表されたGDPは2016年以降で初のマイナス成長となるが概ね市場予想通り。世論調査でボルソナロ大統領の不支持が支持を上回るが、景気刺激策への期待が高まる中、レアルは対円で上昇。国債利回りは低下。	貿易収支や製造業PMI（購買担当者景気指数）などが発表予定。引き続き、年金改革の進展に関わる動向や政策対応を巡る動向などに注目が集まる中、債券・為替市場はともに概ねレンジ内での推移を予想。
	Ba2	→ 金利横ばい	→	↗ 景気回復	→ 据え置き局面		
メキシコ 	A-	7.86% （+0.00）	5.52円 （▲3.76%）	+1.3% 2019年1Q	8.25%	トランプ大統領が、メキシコ国境からの移民への対応が不十分であることから、メキシコからの全輸入品への関税賦課とさらなる税率の引き上げを示唆。メキシコペソは対円で大きく下落。国債利回りは横ばい。	製造業PMIやCPI（消費者物価指数）などが発表予定。米国との通商・国境問題などに関する動向には注意が必要だが、相対的に高い利回りから、メキシコペソについては下値固めのタイミングを探る動きになると予想。
	A3	→ 金利横ばい	↗	→ 景気安定	→ 据え置き局面		

出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成

※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる自国通貨建て長期債格付を表示。

※2 国債利回りを表示（カナダ：10年、ブラジル：4年、メキシコ：5年）。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。

※3 経済成長率については、前年同期比を表示。
















※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。

※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。

※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。

※政策金利については、カナダ：翌日物貸出金利、ブラジル：Selicレート、メキシコ：翌日物金利を表示。

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。  
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		5/31 （5/24との比較）	5/31 （5/24との比較）	前年比 （※3）	先週末		
		今後の見通し （※4）	今後の見通し （※5）	景気の方向性 （※6）	方向性 （※7）		
オーストラリア 	AAA	1.46% （▲0.06）	75.12円 （▲0.78%）	+2.3% 2018年4Q	1.50%	発表された住宅建設許可件数は市場予想を下回る内容。中国の製造業PMIは市場予想を下回り、米国とメキシコの通商問題への先行き警戒感が高まる中、豪ドルは対円で下落。国債利回りは低下。	小売売上高やGDP、貿易収支などが発表予定。市場では中銀が政策金利を引き下げるとの見方が優勢。不透明感の強まっている世界的な通商問題の動向に注目が集まる中、債券・為替市場ともにレンジ内での推移を想定。
	Aaa	 金利横ばい		 景気安定	 据え置き局面		
ニュージーランド 	AA+	1.71% （▲0.02）	70.71円 （▲1.28%）	+2.3% 2018年4Q	1.50%	発表された消費者信頼感指数は前月比で悪化。中銀は発表した金融安定報告の中で金融リスクの高止まりを指摘。世界的に通商問題への先行き警戒感が高まる中、ニュージーランドドルは対円で下落。国債利回りは小幅低下。	交易条件指数などが発表予定。先行き不透明感が高まっている米国と中国・メキシコなどの通商問題に引き続き注目が集まる中、債券・為替市場ともに上値の重い展開が続くと予想。
	Aaa	 金利横ばい		 景気安定	 利下げ局面		
ノルウェー 	AAA	1.58% （▲0.11）	12.37円 （▲1.73%）	+2.5% 2019年1Q	1.00%	発表された消費者信頼感指数が市場予想を下回った一方で、小売売上高は市場予想を上回る内容。世界的に通商問題への先行き警戒感が高まり、原油価格が下落する中、ノルウェークローネは対円で下落。国債利回りは低下。	製造業PMIや経常収支、鉱工業生産、GDPなどが発表予定。重要な経済指標が多いものの、海外市場発のリスク許容度に影響を受けやすい地合いであり、債券・為替市場はともにレンジ内での推移を予想。
	Aaa	 金利横ばい		 景気拡大	 利上げ局面		

出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成

※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる自国通貨建て長期債格付を表示。

※2 10年国債利回りを表示。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。

※3 経済成長率については、前年同期比を表示。
















※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。

※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。

※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。

※政策金利については、オーストラリア：キャッシュレート、ニュージーランド：オフィシャル・キャッシュレート、ノルウェー：デポジットレートを表示。

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。  
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		5/31 （5/24との比較）	5/31 （5/24との比較）	前年比 （※3）	先週末		
		今後の見通し （※4）	今後の見通し （※5）	景気の方向性 （※6）	方向性 （※7）		
南アフリカ 	BB+	7.59% （+0.11）	7.43円 （▲2.02%）	+1.1% 2018年4Q	6.75%	発表された貿易収支は、前月比で悪化。新内閣では、閣僚ポスト数が削減され改革に向けた動きとの見方も台頭。大手格付機関による格付けが維持される中、国債利回りは上昇。ランドは対円で下落。	製造業PMIやGDPなどの発表を予定。引き続き、ラマポーザ大統領の今後の政策についての発言などが注目される中、債券・為替市場はともにレンジ内での推移を想定。
	Baa3	 金利横ばい		 景気停滞	 据え置き局面		
インドネシア 	BBB-	7.54% （+0.05）	0.76円 （▲0.41%）	+5.1% 2018年4Q	6.00%	発表された製造業PMIは前月比で改善。大手格付機関が、経済見通しの力強さと政策面での支援を反映して格付けを引き上げるものの、インドネシアルピアは対円で下落。国債利回りは上昇。	特段重要視される経済指標は見当たらない状況で、引き続きジョコ大統領の政策動向に注目。債券・為替市場はともに概ねレンジ内での推移を予想。
	Baa2	 金利横ばい		 景気拡大	 利下げ局面		
インド 	BBB-	6.84% （▲0.12）	1.55円 （▲1.16%）	+5.8% 2019年1Q	6.00%	発表されたGDPは前年比で5.8%の伸びと市場予想を下回る内容。海外経済環境の悪化を打ち消す景気刺激策を求める動きもある中、インドルピーは対円で下落。国債利回りは低下。	製造業PMIや経常収支などが発表予定。市場では中銀が政策金利を引き下げるとの見方が優勢。モディ首相の政策に関する動向などにも注目が集まる中、債券・為替市場はともにその動きに反応する展開を予想。
	Baa2	 金利横ばい		 景気回復	 据え置き局面		

出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成

※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる本国通貨建て長期債格付を表示。

※2 国債利回りを表示（南アフリカ：3年、インドネシア：5年、インド：5年）。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。

※3 経済成長率については、前年同期比を表示。

※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。

※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。

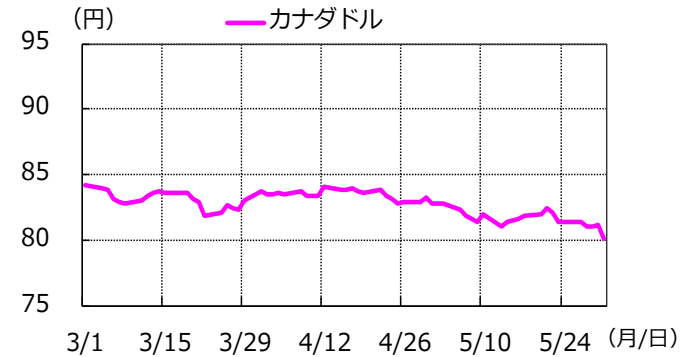
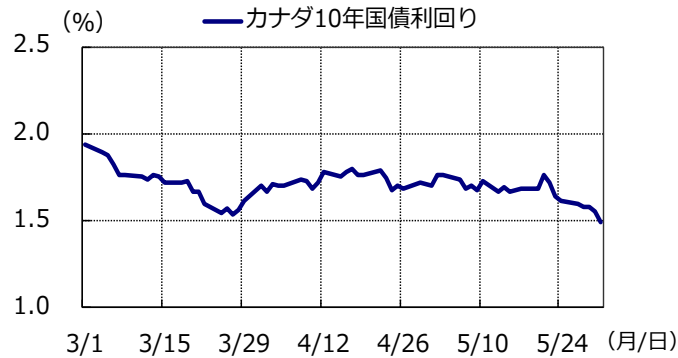
※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。インドネシアルピアは100通貨単位あたりの値。

※政策金利については、南アフリカ：レポレート、インドネシア：7日物リバースレポ金利、インド：レポレートを表示。

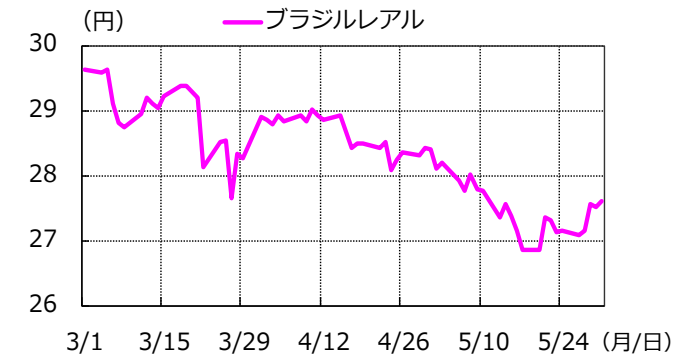
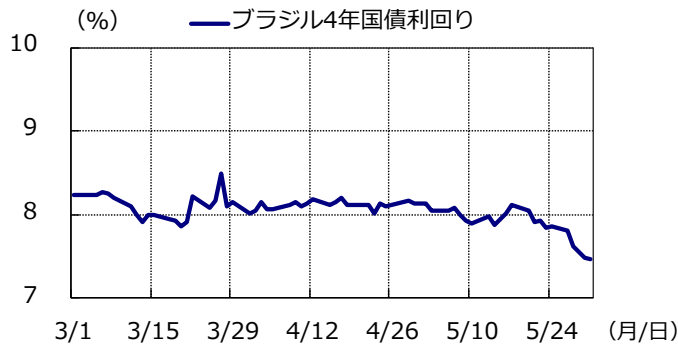
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。  
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

期間：2019/3/1～2019/5/31

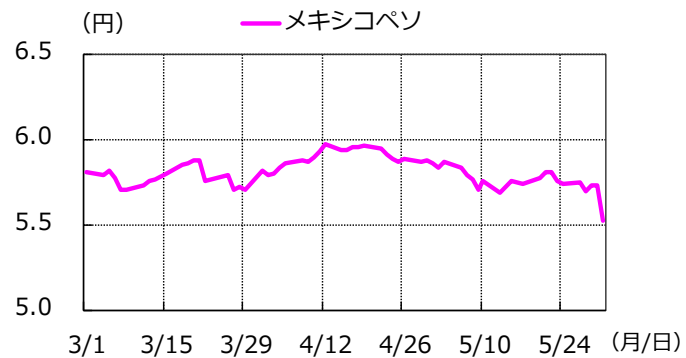
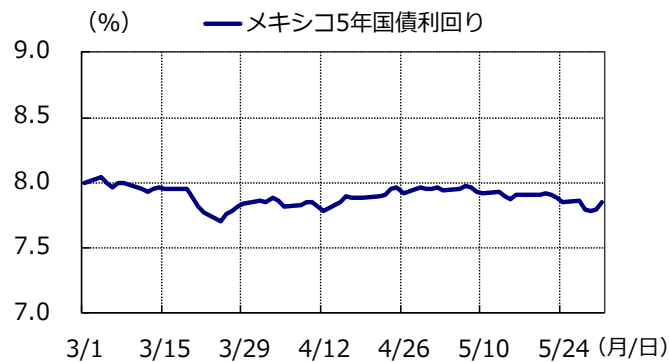
カナダ



ブラジル



メキシコ

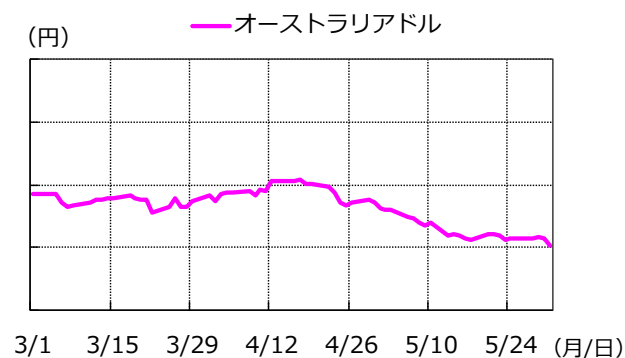
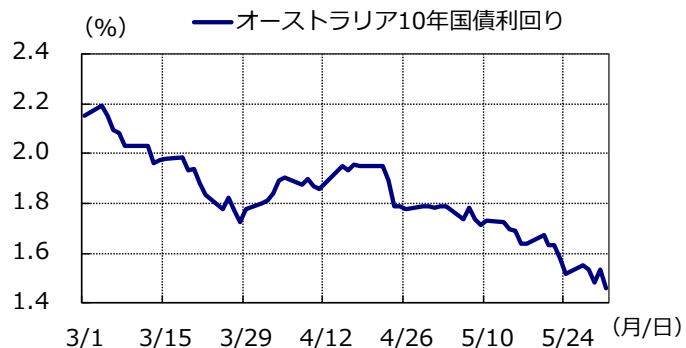


※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成

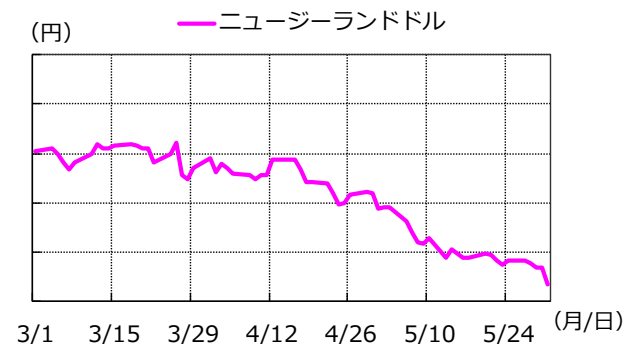
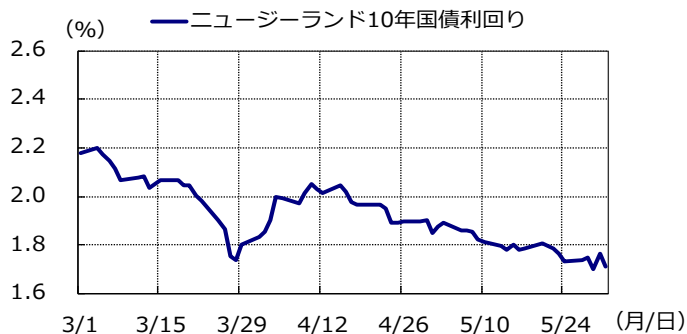
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。  
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

期間：2019/3/1～2019/5/31

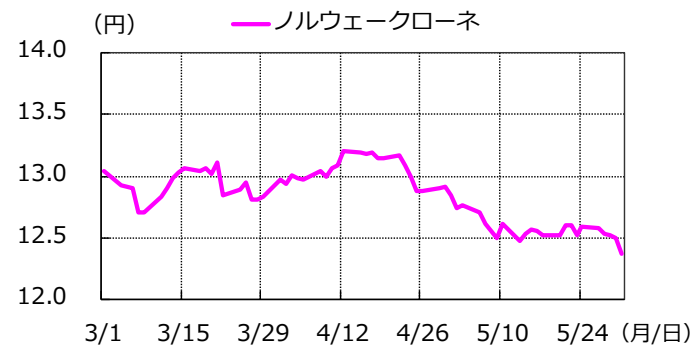
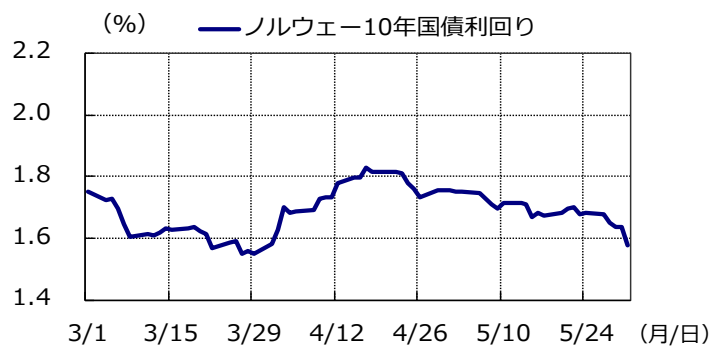
オーストラリア



ニュージーランド



ノルウェー

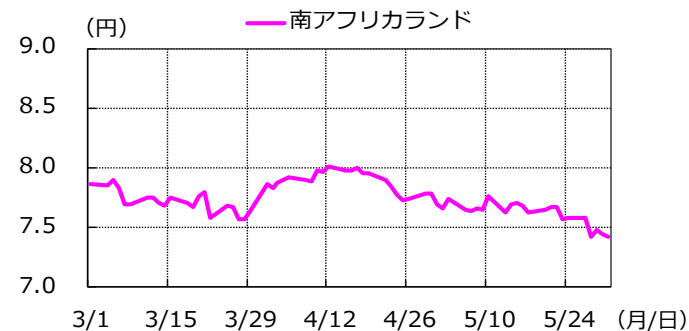
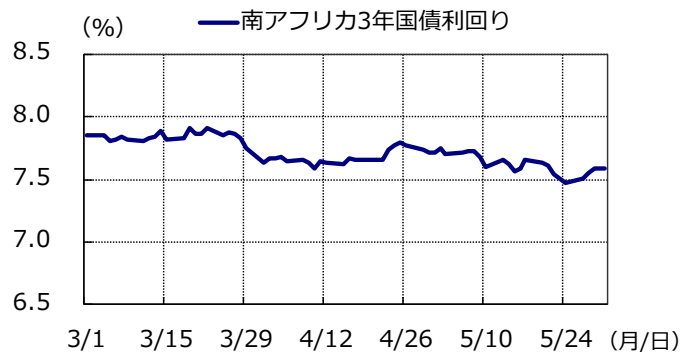


※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成

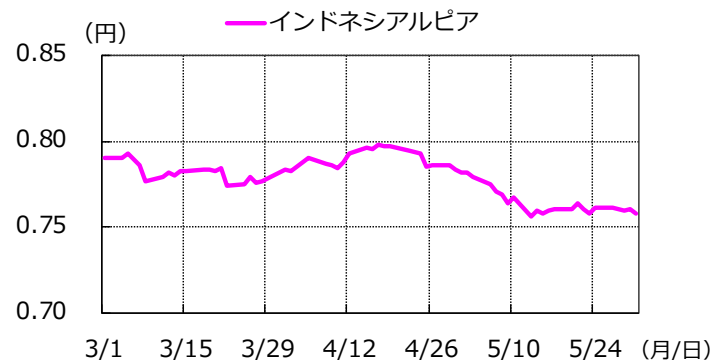
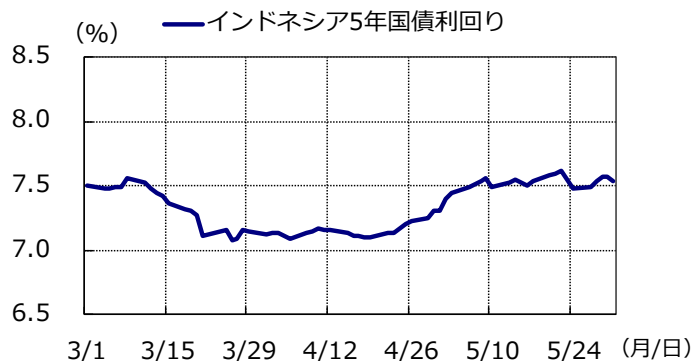
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。  
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

期間：2019/3/1～2019/5/31

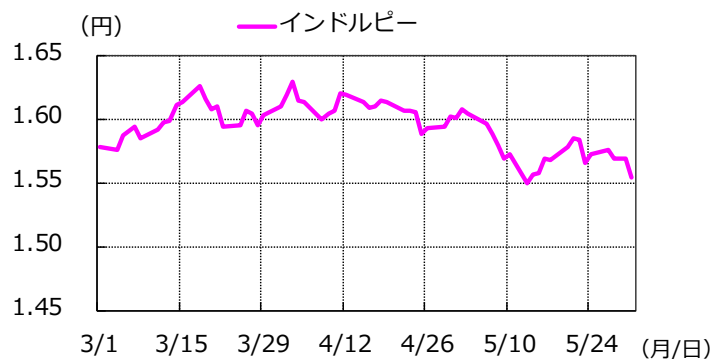
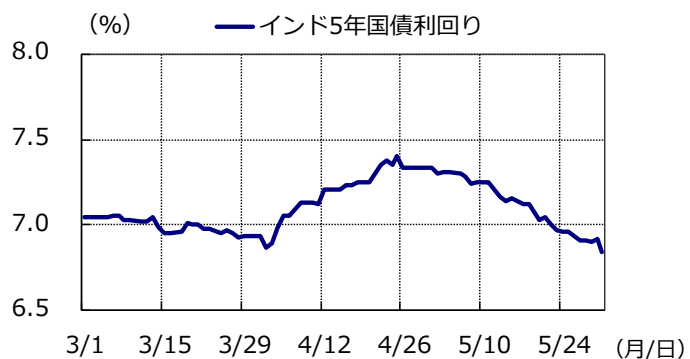
南アフリカ



インドネシア



インド



※インドネシアルピアは100通貨単位あたりの値。 ※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。  
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

# 投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項

## 【投資信託に係るリスクと費用】

### ● 投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式、債券および不動産投資信託証券（リート）などの値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替リスクもあります。）に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者に係る信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。また、投資信託は預貯金とは異なります。

### ● 投資信託に係る費用について

[ご投資いただくお客さまには以下の費用をご負担いただきます。]

#### ■ お客さまが直接的に負担する費用

購入時手数料：上限3.78%（税込）

換金時手数料：換金の価額の水準等により変動する場合がありますため、あらかじめ上限の料率等を示すことができません。

信託財産留保額：上限0.5%

#### ■ お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用（信託報酬）：上限 年率2.6824%（税込）

※上記は基本的な料率の状況を示したものであり、成功報酬制を採用するファンドについては、成功報酬額の加算によってご負担いただく費用が上記の上限を超過する場合があります。成功報酬額は基準価額の水準等により変動するため、あらかじめ上限の額等を示すことができません。

その他費用・手数料：上記以外に保有期間等に応じてご負担いただく費用があります。投資信託説明書（交付目論見書）等でご確認ください。その他費用・手数料については定期的に見直されるものや売買条件等により異なるため、あらかじめ当該費用（上限額等を含む）を表示することはできません。

※手数料等の合計額については、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することはできません。

※上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、アセットマネジメントOne株式会社が運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。

※投資信託は、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国が異なることから、リスクの内容や性質、費用が異なります。投資信託をお申し込みの際は、販売会社から投資信託説明書（交付目論見書）をあらかじめ、または同時にお渡ししますので、必ずお受け取りになり、内容をよくお読みいただきご確認のうえ、お客さまご自身が投資に関してご判断ください。

※税法が改正された場合等には、税込手数料等が変更となることがあります。

## 【ご注意事項】

● 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が作成したものです。

● 当資料は、情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。

● 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。

● 当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。

● 投資信託は、

1. 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて、証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象ではありません。

2. 購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。

3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。